

第1学年算数科授業デザイン

令和5年9月20日(水)
東昌小学校1年生 11名
指導者

1. 単元名 かたち(1)
2. 本時のねらい
 - ・立体図形の特徴をとらえ、言葉で表現することができる。
3. 学習の流れ

	主な学習活動	指導上の留意点	評価
1	<p>【導入】 形当てクイズをする</p> <p>箱の中の立体をさわって、わかることを話す。聞いている児童は、どの形か、考える。</p> <p>かたちをせつめいして、わけよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○クイズを通して、本時の活動をつかませる。 ○めあてを言わせて、教師がまとめて提示する。 	
2	<p>【学び合う】</p> <p>共有の課題</p> <p>箱の中の形を触って説明し、種類を分ける。(種類: 球、円柱、立方体、直方体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱の中の立体を一人ずつさわって、各自キーワードを書く。 ・どう表現すればよいか分からない時には、友だちに聞いたり既習事項を振り返ったりする。 ・グループ内で伝え合う。 ・全体で共有する。 <p>ジャンプの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この形はどれですか？」ゲーム ・カードを使うゲーム ・ブラックボックスゲーム 	<p>具体物を用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3～4人のグループで活動。 ○キーワードとなる言葉を書きとめさせる。 ○既習事項を振り返ることができるように、掲示しておく。 ○グループ内での伝え合いを聞き、あやふやな説明があれば、つなぎ、戻す。 ○全体で確認するとき、同じ言葉でも違う立体に分けている場合、全体に返し、理由を思考させる。 ○これまでに学習した形を説明したり、聞いたりして、形の理解を深めさせる。 	<p>【知・思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして、言葉で説明することができる。 ・説明したり聞いたりして、立体の種類ごとに分けることができる。
3	<p>【まとめ】</p> <p>学習のふり返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○何が分かったのかを具体的に言葉でまとめさせる。 	<p>【態】自分なりの解決方法をふり返りに書くことができる。</p>

4. 学びを活性化させるための手立て
 - ① 言葉で表現することを、導入で意識させる。
 - ② すべてのグループで同じ形の問題に取り組めるように具体物を用意する。
 - ③ どんな言葉で表現すればよいか、じっくり考えさせて説明させる。
(グループ⇄全体を繰り返しながら全員が考えられるようにする。)